

## 四国地域の経済動向（概要） （平成18年6月分）

### 四国地域の経済は、緩やかに改善している

- 生産** 鉱工業生産は、総じてみれば緩やかながら上昇傾向にある。  
 鉱工業生産指数は、2カ月連続で低下した。
- 個人消費** 個人消費は、一部に弱い動きがあるものの、緩やかな持ち直しの動きとなっている。  
 大型小売店販売額(全店舗)は、7カ月連続で前年を下回った。  
 コンビニエンスストア(全店舗)の販売額等は、28カ月連続で前年を上回った。  
 また、乗用車新車新規登録・届出台数は、軽乗用車が前年を上回ったものの、小型乗用車、普通乗用車が前年を下回ったことから、全体では5カ月連続で前年を下回った。  
 家電販売は、テレビ、洗濯機／乾燥機／食洗機などが前年を上回ったものの、エアコン、パソコン本体などが前年を下回ったことから、全体では2カ月ぶりに前年を下回った。
- 住宅投資** 新設住宅着工は、概ね横ばいで推移している。  
 新設住宅着工戸数は、貸家、持家が前年を下回ったものの、分譲住宅が前年を上回ったことから、全体では3カ月連続で前年を上回った。
- 倒産** 企業倒産は、引き続き低水準で推移している。  
 6月単月で見ると、過去10年間で負債総額は5番目の規模となったものの、倒産件数は最低となった。
- 雇用** 雇用情勢は、概ね改善傾向にある。  
 有効求人倍率が2カ月ぶりに上昇し、一般新規求人数が2カ月連続で前年を上回った。
- 公共工事** 公共工事は、低調に推移している。  
 公共工事請負金額は、8カ月連続で前年を下回った。

### 【四国の経済指標】

平成18年6月

	四 国		全 国			
	前月比 (%)	前年同月比 (%)	前月比 (%)	前年同月比 (%)		
鉱工業生産指数(12年=100, 季節調整済)	101.5	▲ 1.8	2.2	105.7	1.9	4.8
鉱工業出荷指数( " )	104.6	▲ 3.9	1.8	108.6	0.7	4.8
鉱工業在庫指数( " )	81.5	▲ 0.4	▲ 0.5	93.9	0.5	1.7
大型小売店販売額(単位: 億円) (全店舗)	432		▲ 2.4	17,238		0.6
(既存店)			▲ 2.0			▲ 0.7
乗用車新車新規登録・届出台数(単位: 台)	12,375		▲ 0.9	405,769		▲ 2.8
新設住宅着工戸数 (単位: 戸)	2,231		0.5	114,331		4.7
輸出通関額 (単位: 億円)	688		18.8	62,696		14.4
輸入通関額 (単位: 億円)	1,218		53.9	54,618		18.2
企業倒産件数 (単位: 件)	29		▲ 6.5	1,111		▲ 7.9
有効求人倍率 (季節調整済)	0.92		(前月差 0.03)	1.08		(前月差 0.01)
電力需要(大口需要) (単位: 百万kWh)	1,434		1.6	-		-
公共工事請負金額 (単位: 億円)	434		▲ 8.2	11,316		▲ 13.2

※前月比、前年同月比は、増減率を表す。

(本発表資料のお問い合わせ先)

総務企画部 調査課 担当者：野田、宮本

電話：087-831-3141(内線261)、087-831-3225(直通)

四国経済産業局ホームページアドレス <http://www.shikoku.meti.go.jp>

# 管内経済指標の推移

